

今後の大会への参加の促進についてのアンケート

1 全日本大会の開催場所（各水域で、開催地を固定など）や開催時期（例年通り、秋口など）、開催期間（例年通り、1日間など）について

【ご意見】

■開催場所

- ・今まで通り各水域で開催される方が望ましい。開催水域チームの参加が容易。
- ・各地で開催してほしいが、チャーター艇がある所となると限定される。
- ・全日本は西東で交互に。西は西宮、東は葉山（江の島）とかで。

■開催時期

- ・選手が高齢なので水温の高い時期に限られるのではないか。（例年通り）
- ・全日本は毎年開催ではなく、3年に一度でもよいのではないか。
- ・日程は2日間がよい。1日でもよい。
- ・関東地域に関しては、十大学戦との同時開催を検討できないか。

2 大会参加のハードル（参加希望者の減少、艇の老朽化、陸送の費用など）とその対応について

【ご意見】

- ・メンバーの高齢化で体調不良、体力弱体も多く、チーム運営と大会参加が厳しくなっている。限界になっている。
- ・若手の育成が最大の課題だが、どのチームもできていない。
- ・大学ヨット部OBだけでなく、広くチームメイトを誘うことが必要。
- ・参加人数が少なくなると陸送費の負担が大きくなるのでチャーターはよい。
- ・参加者減少により活動水域より離れたところでの開催時は参加が厳しい。
- ・そこそこのメンバーでは艇とチームの維持の経済的に厳しくなっているのが一番の課題
- ・スポンサーも望める時代ではなく、奇特的個人のご支援などがないと厳しい。
- ・木造艇は老朽化が進むが、しっかりメンテナンスしている。
- ・遠方からの参加チームに陸送費などを協会から少し援助する。
- ・他の艇種の全日本と共同開催したらどうか。運営コストや輸送費が軽減できるので。

3 大会運営の新たな仕組みに（混合チーム、チャーター艇など）について

【ご意見】

- ・混合チームやチャーター艇方式も検討すべき時期に来ている。
- ・若手のメンバー確保が難しく、いまの保有艇が使える間しか活動できない。
- ・各チームの艇の保管、使用状況を調査し、チャーター艇を斡旋する。
- ・使用（修理）できる全国の艇を探し、チャーター艇として協会が確保する。
- ・スポーツは母校の名誉をかけての試合であるだけに混合チームは難しい。
- ・チャーター艇は必要と思うが、かかる費用が高いと借りられない。
- ・乗り回しは自己の艇に愛着が有り、また、借りる側にも遠慮もあり難しいのではないか。

4 その他

【ご意見】

- ・楽しくA級のレースが出来て、全日本大会はうれしい。運営の方々に感謝。